

香海中学校区

子ども人権フォーラム「ひとりじゃないさ」

と き 平成23年12月2日

参加者 浜っ子幼稚園・香良洲小学校・香海中学校全ての子どもたち、
保護者、地域の皆さん

第 1 部

園児から小学4年生までの子どもたち
「思いやりと優しさを大切にして、仲間になっていきましょ」(司会の小学生のあいさつより)



浜っ子幼稚園 日頃の友達関係について絵を使って表現しました。「悲しいとき、それは、返事をしてもらえないとき」という声に対しては、保護者からも「なるほど」と共感する声が上がりました。

1年生 「みんなだいすきわたしのかぞく」というテーマで、家族への感謝の気持ちを語りました。そして、「家族のために、できることをしたい」と家族の一人として頑張る決意も語りました。

2年生 「大好きわたしたちの町」という取り組みで、香良洲の町に住む素敵な人たちとの出会いを語りました。そして、「自分たちも、出会った人たちのように、周りの人のことを考える、心温かい人になる」という決意を語りました。

3年生 「すごいぞ香良洲の先輩たち」の取り組みで出会った人と触れ合う中で、「香良洲には、人との絆を大切に人がたくさん住んでいる」ということを学びました。子どもたちは、そのことを胸を張って語りました。

4年生 特別養護老人ホーム「フルハウス」との交流で学んだことをもとに、いろいろな状況の中で、自分がどう行動すればいいのかを自分たちで考えて、寸劇という形で表現しました。

第 2 部

小学5年生から中学3年生までの子どもたち
「人と人をつなぐ絆の大切さを考えよう」(司会の中学生のあいさつより)

5年生 「ウサギとカメその後」という朗読劇を行いました。勝ったのに、仲間に信用されないカメ。負けて仲間に責められるウサギ。途中見つけた薬草を家族に届けて負けたという真実を語るウサギ。それを聞いて考え込む仲間たち。「私ならどうするか」考えさせられる劇でした。

6年生 災害ボランティアの人のお話を聞いて、考えたことを発表しました。最後に、「自分を守るという意志」「地震に対する知識」「地域の絆」が大切だということを訴えました。



中学1年生 外国につながる3人からお話を聞いて、考えたことを発表しました。生活習慣や文化の違いが豊かさにつながることや外国人差別は思い込みや決め付けによって起こるので、もっと話して分かり合っていく必要があることを訴えました。

中学2年生 ハンセン病回復者と支援者から学んだことを発表しました。特効薬が開発され、ハンセン病は治る病気になったのに、今も根強く差別が残っていることを訴えました。「無知は罪だ」という子どもたちの声が聞かれました。

中学3年生 修学旅行で訪れた広島で聞いた語り部の人のお話をもとに、かつて屍の街しかばねになってしまった広島の様子を語り、原爆の恐ろしさや、平和や命の大切さを訴えていきました。大きくうなずきながら聞く大人の姿もありました。